

学校法人 北里研究所 北里大学東洋医学総合研究所だより



平成 29 年 1 月号 (第 41 巻第 1 号・通巻第 165 号)



右絵は岩崎灌園『本草図譜』に描かれたビンロウ

檳榔 (ビンロウ)

ヤシ科ビンロウはマレー半島原産で、中国南部などの熱帯地域に植栽される常緑高木。高さ 4 ～ 10 m。漢方では、種子を「檳榔子」と称し、消化不良や腹痛、寄生虫症、便秘、

脚気などに効があり、女神散、九味檳榔湯などに応用され、果皮は「大腹皮」と称し、消化不良や腹部膨満感、浮腫に効があり、分心気飲などに用される。

(坂田 幸治)

新年のごあいさつ

北里大学東洋医学総合研究所

所長 小田口 浩



新年明けましておめでとうございます。本年一年が皆様にとりましてすばらしい年となりますよう、祈念申し上げます。

昨年の大きな話題は、熊本地震の発生、オバマ米大統領の広島訪問、イギリスの EU 離脱、リオデジャネイロオリンピックでの日本勢の活躍、築地市場移転問題、米次期大統領選挙でのトランプ氏の当選などでしたが、Google の囲碁ソフトが世界トップの囲碁棋士に勝利したというニュースは我々に与り衝撃的でした。今後人工知能 (AI) は様々な分野で利用され、我々の生活も益々便利かつ安全になるものと期待されます。AI の活用は医療の分野でも期待されており、その研究開発が大変な勢いで進められております。当研究

所は現在、センサーオブイノベーション (COI) プログラムという国家プロジェクトに参加しておりますが、その中で AI を利用して漢方診断のロジック (過程) を形式知化 (見える化) する取り組みを行っております。漢方医療は伝統的に継承され、積み重ねられてきた知識を基

に実践されておりますが、血液やレントゲンなどの検査結果だけを頼りにするのはなく、患者様の精神状態、頭のとっぺんからつま先までの全身状態、家族関係をはじめとした社会的背景など、多様な情報を頼りに診断を行うため、その過程が非常に見えにくく、それが当たり前と考えられてきました。しかしこのすばらしい知識・知恵の集積を、漢方をこれから学ぼうとする医師や薬剤師に

きちんと伝えたり、さらに改良したりするには、どうしてもある程度見える化が必要となってきます。この COI プログラムは、AI を用いて患者様のたくさんのデータを処理することで漢方診断ロジックを見える化し、より多くの患者様が適切な漢方医療を受けることができ世の中にすることを目指しております。漢方界での AI の活躍に、是非ご期待ください。

他方、漢方や鍼灸医療の利点は診断や治療のきめの細やかさにあるのであり、AI がこれら全てを代替できるとは考えられません。漢方鍼灸では「なぜ効くか」の理屈よりも、「どうやったら効くか」という現実の方を重視します。西洋医学では、ともすれば病気の原因を探ることに注力し、肝心な治療法の開発は後回しになることが少なくありません。これに対して漢方鍼灸では当初から「治す」ことに主眼を置いており、どうすれば漢方薬や鍼灸が効いたかの記録を検証す

ることが重要となります。当施設の医師や鍼灸師が普段知識の源とする書物の大半は江戸時代やそれ以前の古い時代に書かれたものであり、時代によって皆様驚かれるでしょう。しかし、いろいろな診断機器がなかった時代に五感のみで患者様の状態を把握して治療に当たっていた漢方医たちの感覚や知識は繊細、かつ確かです。患者様の一部だけでなく全体を診るといふ漢方鍼灸医療の本領は、彼らが残してくれた歴史的遺産を十分に検証することで発揮されると考えられ、それゆえ我々も古い書物を読み、現代への応用を日々検討しております。漢方は古くさいと批判されることも多いのですが、古くから実践され、症例をたくさん積み上げてきたからこそ安全で有効な医療として現代の我々がその恩恵を享受できております。先人が遺してくれた偉大な遺産を、様々な心身状況にお悩みの患者様に、できるだけよい形で応用することが当施設の医師・鍼灸

師に課せられた仕事です。五感を駆使し、頭をフル回転させて行うこの作業は、いくら囲碁の領域で存在感を強めたAIをもつてもまだまだ困難であり、AIが漢方医・鍼灸師の役割を十分果たすことができるようになるのはまだまだ先であろうと考えられます。

私どもが「東洋医学の叡智を極め、漢方鍼灸医療を通じて笑顔あふれる社会を実現する」という理念を制定してから1年あまりが経過しました。所員一同、この理念を実現すべく日々精進しておりますが、特に本年はそのことを皆様に実感していただける1年にしたいと考えております。そのため我々所員一同、患者様のお悩みに共感できる温かい心を持ち、患者様に最も適した解決策を提供できるよう、努力いたします。皆様からの叱咤激励をいただければ幸いです。



黄柏、車前子と

グアニジン誘導体メトホルミン

漢方診療部

堀田 広満

錠剤で糖尿病の治療をされている方、特に1日3回食後服用であれば、その大半はメトホルミンです。販売は半世紀前からですが、新薬の影に隠れ、最近まで決して主流ではありませんでした。ところが糖尿病ガイドラインとしてアメリカ（ADA）、欧州（EASD）が2012年、薬物治療の全症例にメトホルミンを用いるよう提言を出した後、日本でも復活を遂げました。

さらに、同薬は不老長寿と関係があると近年報告が相次ぎ、日本の厚生労働省にあたるアメリカFDAが承認した、長寿に関する同薬の臨床試験が進行中です。

そのメトホルミンですが、中世には薬草として用いられたガレガソウ（フレンチライラック）から抽出されたグアニジンが基となつています。その歴史を知らない医師も多いでしょう。

メトホルミンはグアニジンから誘導されて創られましたが、このグアニジンを含む生薬があります。それが黄柏です。またグアニジン誘導体であるブランタゴグアニジン酸を含む生薬に車前子があります。興味深いことに、東洋医学においても、糖尿病の治療にそれぞれ多く用いられてきました。

消渴、淋、腎虚など古典の記述は口渴、排尿障害、腎機能低下、全身倦怠感など糖尿病の症状に合致し、その治療に用いられる牛車腎気丸、清心蓮子飲の原典にもその記載があります。ちなみに西洋医学はエビデンス（証拠）を重要視しますが、その基準にも耐え得る糖尿病のランダム化比較試験として、前者は坂本（1987年）、後者は我妻（1994年）の報告があり、各処方が有用であることが知られています。この2処方

方に共通する生薬がオオバコの実、車前子です。個人的意見ですが、車前子がグアニジン誘導体を介して耐糖能を改善した可能性は十分あると思います。

糖尿病の合併症は網膜症、腎不全、神経症状が主たるものです。ちなみに当研究所初代所長、大塚敬節は自身の網膜出血の治療に黄柏を含む七物降下湯を用いています。黄柏はグアニジンそのものを含有し、よりメトホルミンに近い薬理作用を持つと私は考えています。神経症状に用いる痿症方、加味四物湯、補陰湯などにも黄柏は含まれており、糖尿病合併症にも有効性を認めます。また当研究所、花輪の外來で三妙散（黄柏、蒼朮、牛膝）による糖尿病症状の改善経過を体得できました。紙面上ではあ

ります。が研修医時代、陪席を許していただいた患者様には厚く御礼申し上げます。

黄柏はキハダの周皮を除いた樹皮ですが、本邦では修行僧も好んで用いた奈良の陀羅尼助(ダラニスケ)、信州の百草(ヒヤクソウ)、山陰の煉熊(ネリクマ)など民間薬としての歴史も長く認められます。メトホルミン同様、黄柏に長寿効果があるかは不明ですが、愛用されてきた歴史には意味があるのでしょうか。現在、薬草

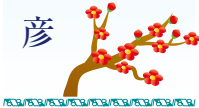
由来のメトホルミンが一巡して再注目されるように、古典を読み込めば漢方治療も皆様のお力になるポテンシャルを相当秘めています。私は他施設において、世界に先駆け日本が主導を担った糖尿病新薬、SGLT2阻害薬やGLP1受容体作動薬など、多くの治療を担当してきました。今後西洋医学を貪欲に学びつつ、東洋医学の古典を眠らせず、皆様のお力になれるよう努力する所存です。

東亜医学協会理事長

花輪 壽彦

第26回漢方治療研究会開催

北里大学にて開催



さる、10月2日、東亜医学協会が主催する第26回漢方治療研究会開催が、小田口浩会頭、鈴木邦彦準備委員長の下、東洋医学総合研究所のスタッフの全面的協力を得て、北里大学薬学部コンベンションホールで開催されました。参加者は230名と多く、大盛会でした。

そもそも「漢方治療研究会」という研究会を立ち上げたのは、当研究所第二代会長・矢数道明先生です。26年前に、漢方治療が次第に漢方エキス製剤中心になり、本来の「煎じ薬治療」が軽んじられる傾向がみられるようになりました。そこで矢数先生は当初「湯液治療研究会」と名づけ生薬の研鑽や効果の検証をじっくり議論する研究会として本会を東亜医学協会の年次行事にすることを企画・実践されました。実行委員会は種々の大学・団体などの持ち回りですが、今回は北里大学東洋医学総合研究所が中心になって準備をして頂きました。

本年は江戸から明治にかけて漢方界の巨頭といわれた浅田宗伯(1815~1894)の生誕からちょうど200年経つので、『浅田宗伯二百年に学ぶ』というタイトルのもと、特別講演、教育講演、指定講演、一般講演などが行なわれ活発な議論がおこなわれました。



れました。

ちなみに浅田宗伯は「浅田飴」として皆様も名前をご存知と思います。

特別講演は山崎正寿先生に「浅田宗伯と傷寒論のかかわり」と題する貴重な講演を頂きました。東亜医学協会常任理事の秋葉哲生先生や二松学舎大学の町泉寿郎先生にも貴重なお話を頂きました。

指定講演には北里大学東洋医学総合研究所の渡辺浩二先生に「浅田宗伯先生と『医学典刑』について」と題した講演を、堀田広満先生は「『勿誤薬室方函口訣』の出典調査から」と題した、非常に緻密に研究・調査した内容が紹介され、改めて漢方医学の伝統をきちんと修



第26回漢方治療研究会
主催 東亜医学協会

学する必要性や江戸時代の漢方医学レベルの高さを再確認するすばらしい講演内容でした。また研究会のポスターを堀田広満先生が作ってくれたのですが、「とても雰囲気が出ていてすばらしい」と参加者から賛辞をいただきました。

今年は東洋医学総合研究所のスタッフのおかげで立派な研究会を行なうことができました。東亜医学協会を代表して心より御礼申し上げます。

上げます。（来年は福島で第27回漢方治療研究会を三浦忠道先生会頭の下に行なう予定です。）

「漢方診察 手合わせ会」を開催して



EBMセンター 関根 麻理子

2016年11月20日に品川で「漢方診察 手合わせ会」を開催しました。この会は、福島県立医科大学、東海大学、千葉大学、富山大学、自治医科大学、北里大学の漢方診療専門家が主体となり、臨床データを用いて日本の伝統医療である漢方診療の骨格部分を標準化するプロジェクト活動の一環です。私たちは本プロジェクトの取り組みのなかで、漢方医学的所見の判断基準（たとえば、どういう場合に心下痞鞭*ありと判断するか）を明確化することも行ってきました。

漢方医学における診察所見は、処方を決める上でとても重要な要素ですが、医師の視覚や触覚など主観で評価される部分が多くあるため、プロジェクトメン



腹診をする先生方

バーが漢方診察の方法を互い観察しあい、合わせられるところは合わせていくという目的で今回はじめて本会が開催されました。本手合わせ会に全国各地の漢方医54名を含む83名が参加しました。本会では、模擬患者を対象としたプロジェクトメンバーによる漢方診察が行われ、漢方医学的所見の判断基準をもとに

実践し、実際の所見採取を標準化するための活発な討論も行いました。この会を通じて、所見判断基準の明確化することの有用性や、お互いに診察方法を観察しあう診察研修会の必要性も明らかになり、本来の目的である漢方診療の骨格部分を標準化することに一歩前進したと思います。

また、腹診シミュレーターを用いてプロジェクトメンバーが参加者に診察方法や所見判断基準を伝授するなどの教育的な側面を有するワークショップも企画し、参加者にも漢方診察の奥深さや、漢方診療の骨格



中継で診察方法を学ぶ参加者

部分を標準化する意義を体感することのできる大変有意義な機会になったと思います。

今回、漢方界の著名な先生方が一堂に会して診察方法を一般公開するという意



WFAS Tokyo/Tsukuba
2016 参加報告

医史学 研究部 加畑 聡 子

平成28年11月5日(土)、6日(日)に、つくば国際会議場(茨城県つくば市)にて行われたWFAS Tokyo/Tsukuba 2016大会に参加してまいりました。WFAS (The World Federation of Acupuncture-Moxibustion Societies:世界鍼灸学会連合会)とは、1987年に設立された世界の鍼灸関係の学術団体によって構成される国際団体で、現在53カ国から178団体が加盟しています。わが国では1993年の京都における第3回世界鍼灸学会学術大会以来、23年ぶりの開催となる本大会は、全日本

鍼灸学会と日本伝統鍼灸学会の共催によって実現しました。本大会のテーマを「美しき鍼灸」(The Beauties of Acupuncture)とし、「従来の伝統的な枠組みに止まらず、社会の変革や疾病の変化に対して柔軟な姿勢を持ち続け、常に自己改革と社会が求める意義ある価値を創造し、未来にあるべき持続可能なヘルスケア (Sustainable Health Care) のモデルをダイナミックに提示する」ことを開催趣旨とするなど、幅広い枠組みの中で、様々な視点を持つプログラムが行

味でも、非常に貴重な会となり、本会は大盛況のうちを終了しました。

*心下痞鞭・みぞおちに抵抗や圧痛を認めるもの。腹診所見項目の1つであり、漢方医学的用語。



会場写真

われましました。
 基調講演には「日本鍼灸の形成とこれからの社会における鍼灸の役割(明治国際医療大学 矢野 忠特任教授)」「持続可能な医療と統合医療・鍼灸への期待」(京都大学こころの未来研究センター 広井 良典教授)といった日本鍼灸の現状を題材として取り上げられたものから、経絡治療や九鍼など、日本で独自に発展し、継承されてきた伝統鍼灸についての実技セッションが開催されるなど、流派の垣根を越えて各団体が一丸となって日本鍼灸を世界へ発信しました。

当研究所からは鍼灸診療部・伊藤剛部長「足背第3趾第4趾間の奇穴を起点とする新たな経脈の発

第33回和漢医薬学会
 学術大会に参加して
 臨床研究部客員研究員 竹元裕明



見」、医学研究部・猪飼 祥夫客員研究員「『太平惠民和剂局方』にみる灸の温度考」、加畑聡子「山崎宗運の『天聖銅人腧穴鍼灸図経彙攷』にみえる加筆に

ついて」の発表がありました。本大会の開催が、日本鍼灸の国内外における広い啓蒙につながり、さらなる発展の一助となることを期待します。

漢方薬が効くことは経験的に知られていますが、なぜ効くか?は未解明な部分も多いです。理由として漢方薬が複数の構成生薬由来の多成分系の薬剤であることが挙げられます。単一成分が特定の作用点に働くことで薬効が得られる西洋薬とは異なり、漢方薬では複雑の成分が生体内の複数の作用点に作用して多面的に薬効が発現します。このような漢方薬の薬効が十分に解析されれば、新たな有効活用にも繋がります。第33回和漢医薬学会学術大会では「和漢薬イノベーションの創生」をテーマに星薬科大学副学長の杉山清教授が

大会長となり2016年8月27日(土)から28日(日)にかけて星薬科大学で開催されました。「和漢薬の有用性を検証するための研究戦略」と題されたシンポジウムの中で、本研究所基礎研究部の永井隆之准教授が「香蘇散煎剤の抗うつ様作用のプロテオーム解析」の題目で講演しました。漢方薬の薬効機序の解析には、網羅的な一斉分析が必要有効です。プロテオーム解析とは、生物のもつタンパク質の構造や機能を網羅的に解析する手法です。この網羅的解析型研究から、うつモデルマウスの脳で変動するタンパク質を784種、

さらにこれらのうち香蘇散の抗うつ作用により改善するタンパク質を56種同定し、今後の漢方方剤の薬効機序の解析やより有効に活用する上で有用な情報が得られたことが報告されました。

臨床研究部からは「大建中湯の構成生薬・乾姜の抗炎症作用によるマウス術後腸管麻痺改善効果」、「社会的ストレス誘発脳内炎症に対する香蘇散の制御」、「エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス(EBM)」の「EBM」阻害を介したが細胞の運動能抑制作用」、「エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキスと麻黄エキスを用いた麻黄の副作用の比較検討」を発表しました。我々は副作用の少ない新しい漢方薬を医薬品化し、将来多くの患者様が安心・安全に治療を受けられるようになることをめざし日々研究を行っています。本大会では麻黄の副作用に関する研究成果を発表しましたが、今後も研究で得られた成果や情報を常に発信し、今後の漢方医学の発展に貢献していく所存です。次回の第34回和漢医薬学会学術大会は「和漢薬の未来につながる」をテーマに福岡大学薬学部の岩崎克典教授を大会長とし2017年8月26日〜27日に福岡国際会議場で開催される予定です。

大人の社会科見学
 「あずきミュージアム」編
 EBMセンター室長 若杉 安希乃



あんこと言えば、お汁粉、善哉、大福、鯛焼き、羊羹、最中、あんぱん等々・・・
 お正月にも食された方、た

くさん、いらつしやるのではないのでしょうか。これらの材料となる小豆は、日本人が世界中で一番食べてい



10倍のあずきレプリカ

きの種類の多
さに驚きま
す。あずきの
種の色は、赤
色の他にもい
ろいろあり、
大きさも形も
それぞれ違っ
ていました。

るそうです。「小豆」は「あ
ずき」と一般的に読みます
が、漢方医学では「シヨウ
ズ」と読み、便秘・下痢・
湿疹・むくみに効果的と言
われています。

このたび、赤いダイヤ
あずきの魅力に魅せられ
て、JR姫路駅より徒歩15
分のところにある「あずき
ミュージアム」に行つてき
ました。

思わず笑みがこぼれたあ
ずきの形をした入口からス
タート。中に入ると、身近
なあずき食品の数々が紹介
されていて、私達の生活の
様々な場面にあずきが使わ
れていることに気づきま
す。そして、世界のあずき
と日本のあずきが展示され
ているコーナーでは、あず

ところで、あずきの花の
色、ご存知ですか？豆の色
から赤と思っていました、
が、違いました。写真は、
あずきの「王様」エリモシヨ
ウズの10倍スケールにした
レプリカを下から見上げる
ように撮影したものです。

1階から吹き抜けの中央に
立ち、下の方には莢(さや)が
が、上の方には黄色のかわ
いい花がついていました。
レプリカの近くには、1日
だけしか咲かないあずきの
開花の様子と、葉が就眠す
る様子の映像が上映されて
いました。

その他、人生の通過儀礼
とあずきの関係、民話に登
場するあずき、あずきのこ
とわざ、あずきの栄養、世
界のあずき食、日本のあず

き食、二十四節気に合わせ
たあずき食レシピなど、
たつぷりと学ぶことが出来
ました。

最後にあずきに関するク
イズQ&Aコーナーで問題
を解き、全問正解して「上
級あずき博士認定証」をも
りました。

漢方豆知識

サンシユユ

薬剤部 三澤 心

来月はもう立春。寒くても
着々と春は近づいています。
植物が季節を感じ取る力は素
晴らしく、これから春に向け
て多くの植物が花を咲かせて
くれます。その一つにサン
シユユがあります。

サンシユユはミズキ科に
属する高さ4〜5mの落葉
樹です。原産は中国及び朝
鮮半島で、日本には江戸時
代の享保年間に渡来しまし
た。まだ寒い早春、葉に先
だつて小枝に黄色の小花を
咲かせ、また秋には光沢の
ある赤い実(偽果)を付け
ます。春と秋共に観賞用と

りました。

植物学的知識から歴史、
文化、あずき料理レシピま
で小さなあずきから多くの
発見を得ることが可能な
「あずきミュージアム」。機
会があれば、また訪れたい
と思います。

して楽しむことが出来るた
め庭木としても人気です。
植物学者である牧野富太郎
博士はその花の姿から「ハ
ルコガネバナ」、そしてそ
の実の姿から「アキサン
ゴ」という素敵な別名を付
けています。

漢方ではサンシユユの果
肉を「山茱萸」と称し、用
います。山茱萸は果肉が厚
く、紫黒色で、酸味と渋味
のあるものが良品とされま
す。中国最古の薬物学書
『神農本草経』にすでに記載
されており、膝や腰のだる
さや痛み、寝汗、ふらつき

などに効果があるとされて
います。配合される漢方処
方には主に高齢者の冷えや
疲れ、排尿障害などに用い
られる八味地黄丸や、眼精
疲労などに用いられる
杞菊地黄丸などがあります。

ところで、ブルガリアで
はサンシユユによく似たセ
イヨウサンシユユという植
物の枝や葉を用いてヨーグ
ルトを作る伝統製法があり
ます。そしてこの植物から
得られた乳酸菌は、市販の
ヨーグルト製造に用いられ
る2種類の乳酸菌と同等で
あったとの研究報告があり
ます。一方、サンシユユの
枝を用いても牛乳がヨーグ
ルト状に固まると以前話題



になりましたが、サンシユ
ユではまだ乳酸菌の有無や
同等性などは研究報告され
ていません。固まった物が
ヨーグルトかどうかは不明
ですので、試しに作ってみ
ても食べない方が良いで

しょう。
青く澄んだ空にサンシユ
ユの花は映えてとてもきれ
いです。防寒対策はしっか
りして、少し早い春を見つ
けに外へ出掛けてみてはい
かがでしょうか。

ツボの効用

懸鐘 (けんしやう)



鍼灸診療部 小瀨志帆

懸鐘穴は、足の少陽胆経
に属する経穴です。足の少
陽胆経は、目尻から始まり
側頭部、頸部をめぐったの
ち、脇を下り、股関節を通
り、さらに下腿の外側を下
り、足の第4趾に終わる全
44の経穴で構成される長い
経絡です。懸鐘穴は足の少
陽胆経の39番目の経穴にな
ります。

をした鈴をつり下げていた
ことに由来すると言われて
います。また、別名「絶骨
(ぜつこつ)」穴とも呼ば
れ、ちょうどこの部位で骨
が断絶し、溝の形をしてい
るように見えることから名
づけられたとも言われてい
ます。

懸鐘穴は下腿の外側、外
果の上三寸(指3本分)、腓
骨の前縁と短腓骨筋との間
の陥凹部に位置します。

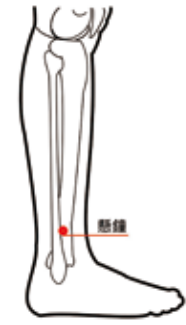
懸鐘穴の「懸」はつり下
げるという意味です。古く
は小児がこの部位に鐘の形

経穴は、属する経絡上に
生じる症状や病証を治療す
ることが出来るといわれて
います。懸鐘穴は足の少陽
胆経に属することから片頭
痛、寝ちがひ、胸腹部の腫
脹、肋間神経痛、坐骨神経
痛、膝関節や足関節周囲の
トラブルなどに用いられて

います。また、足底のつり
にも効果があります。

以前「維道(いどう)穴」
「翳風(えいふう)穴」は
交会穴(こうえけつ)でも
あるとご紹介しましたが、
今回の懸鐘穴は、八会穴(は
ちえけつ)のひとつでもあ
ります。八会穴とは、腑、
臓、筋、髓、血、骨、脈、
気の8種類のそれぞれの精
気が集まる経穴とされ「髓
会(ずいえ)」が懸鐘穴にあ
たります。

東洋医学では、髓は脳、
骨、髓、脈、胆、女子胞の
6つの臓器を総称する奇恒
之腑(きこうのふ)のひとつ
であり、これら奇恒之腑
は五臓六腑とともに臓腑を
構成します。奇恒之腑は、
形は六腑に似ており、作用
は五臓に似て精気を貯蔵す
ることから五臓六腑とはや
や異なる臓器とされています。
また、髓は腎精から生



じ、腎は骨を主ることから
「諸髓は皆骨に属するが故
に髓会となす」とされ、す
べての骨髄の疾患に用いる
こともできる経穴とされて
います。

ひとつの経穴だけの効果
もありますが、当科では経
絡による全身的治疗に加
え、必要な場合には他の経
穴と組み合わせる局所治療
に応用しています。

古医書のはなし

加藤謙斎と『医療手引草』

北里大学客員教授 小曾戸 洋

加藤謙斎(1669~1
724)は現代の漢方界で
話題に上ることは少ないで
すが、『医療手引草』をはじ
め数多くの医書を著し、江
戸時代中期の日本漢方の特
徴づけた重要な人物です。



謙斎の代表的著作 『医療手引草』

謙斎は寛文9年(166
9)12月12日に三河国宝飯
西郡に生まれました。名は
忠実、字は衛愚、通称は彦
助、号は謙斎、また鳥巢道
人とも号しました。生来病
弱で、三河の医師の治療を
受けましたが効なく、尾張
の小山臨節の治療によって
平癒しました。臨節は名古
屋玄医の門人であり、これ

をきっかけに謙斎は臨節に
就いて古医方を学ぶようにな
ります。のちに謙斎は京
都で晩年の玄医に直接師事
したとみるむきもありま
す。謙斎は尾張で山脇玄心
の門人であった立家養軒に
も学び、元禄中頃には京に
上り、浅見綱齋に儒を、稲
生若水に本草を、笠原雲溪
に詩文を学び、京都東の衣

舖で医業を開きました。よって門人からは衣舖先生と尊称されました。享保9年(1724)1月7日に享年56で没し、墓は京都の宝塔寺と愛知県蒲郡市の長存寺にあります。

謙斎の著に『医療手引草』があります。『上編』(1776年刊)は初学者向けに古方・後世方の口訣を述べ、有用処方を示し、諸名医の論を付します。題言には「古林見宜が『医学入門』に依拠してのち、『薛氏医案』が伝来して林市之進がこれを広め、人參を多用し、日本薛己流の祖となった。その後、名古屋玄医が程応旄・俞嘉言等の書によって張仲景流を自称し、附子を恐れもなく使い出した。この頃、大坂には博学で医理に精通した北山友松子がいた。市之進・玄医・友松子の3人から日本の医学は学問的に向上した。しかし臨床の腕は古人のほうが上だった」とあります。『中編』(1771年刊)・『続編』(1776年刊)は『上編』の補遺、『別録』(1777年刊)は『和漢経験方』とも称し、かつて門弟を集め講論した記録をまとめたものです。『医療手引

草』はいずれも平易な和文で書かれ、経験処方の運用の秘訣を子細に述べた実用書で、数ある謙斎の著作中で最も流布しました。

メディア紹介

- KKベストセラーズ「二個人」(体の部位別「血流改善」のツボ)平成28年10月号 伊藤 剛
- マキノ出版「壮快」(かかとのボール刺激)平成28年11月号 伊藤 剛
- 朝日新聞社「週刊朝日」(ツボ・漢方薬)平成28年9月30日号 伊藤 剛
- 東宝通信社「コロンブス」(地域の医療資源でアレレギョー解消!)平成28年10月号 小田口 浩
- 三栄書房「男の隠れ家 別冊」(30人の名医が実践する病気になる健康術180)「こり」を解消して心身を健康にしよう! 伊藤 剛
- オレンジページ「本当にすごい冷えとり百科」(下半身型冷え症は「おしりストレッチ」をする) 伊藤 剛
- テレビ東京「主治医が見つかる診療所」(夏の疲労 完全回復SP)平成28年8月22日(月) 伊藤 剛
- NHK「あさいち」(絶好調!舌パワ―)平成28年10月26日(水) 伊藤 剛
- フジテレビ「その原因、Xにあり!」(冷えない)平成28年11月4日(金) 伊藤 剛

東洋医学総合研究所 外来案内
漢方鍼灸治療センター

休診日：日曜日・祝祭日・年末年始(12/29～1/3)
ホームページ：http://www.kitasato-u.ac.jp/tou-ken/

平成28年10月より第4土曜日も診療を開始しました。

代表：03-3444-6161
予約電話：03-5791-6169
(月～金) 8:30～17:00
(土曜日) 8:30～12:30
お薬に関するの問い合わせ：
03-5791-6167

漢方科 (平成29年1月～) 鍼灸科

	月	火	水	木	金	土 ^⑤	月	火	水	木	金	土 ^⑤
午前	花輪 ^① 星野 堀田 石毛	花輪 鈴木 石毛	花輪 ^② 及川 川鍋 齋藤	花輪 小田口 及川 五野	伊藤 ^③ 及川 鈴木 森	小田口 鈴木 星野 森 川鍋 石毛 堀田 堀田	伊藤 ^④ 石原 黒岩 小山	柳澤 石原 小濱 小山	石野 石原 井田 黒岩	伊藤 ^④ 石原 小濱 小山	石原 井田 黒岩 小山	伊藤 ^④ 石原 小濱 伊藤 ^④
午後	[冷え症 外来] 鈴木 [思春期 女性外来] 森 川鍋	伊藤 ^④ 鈴木 堀田 川鍋	星野 石毛 齋藤	小田口 及川 堀田 五野	[冷え症 外来] 伊藤 ^③ 星野 森 堀田		石原 井田 小濱 小山	井田 黒岩 伊藤 ^④ 近藤 小山	石原 小濱 伊藤 ^④ 掛川 霜降	井田 黒岩 伊藤 ^④ 小山	伊藤 ^④ 石原 小濱 伊藤 ^④	

初診受付時間

漢方科	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～10:30	8:00～10:30
午後	12:50～15:00	

鍼灸科

鍼灸科	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～10:00	8:00～10:30
午後	12:50～14:30	

再診受付時間

漢方科	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～11:00	8:00～12:00
午後	12:50～15:30	


鍼灸科

鍼灸科	月～金曜日	土曜日(午前のみ)
午前	8:00～11:00	8:00～11:30
午後	12:50～15:30	

漢方ドック

漢方ドック	月～金(完全予約制)
	9:00～15:30

漢方と鍼 第165号
発行日/平成29年1月4日
発行人/小田口 浩
編集/北里大学東洋医学総合研究所
漢方と鍼編集部 代表・星野 卓之
東京都港区白金5-9-1
TEL 03(3444)6161



WEBサイト

※青字は男性医師または男性鍼灸師
赤字は女性医師または女性鍼灸師
※専門外来では一般の患者様の診療も行っています。

- ①：月曜日午前の花輪医師の外来は、初診のみとなります。
- ②：水曜日午前の花輪医師の外来は、第2水曜日が休診となります。
- ③：金曜日午後(第1・3)の伊藤(剛)医師の冷え症外来は初診のみとなります。
- ④：第2・4金曜日のみとなります。
- ⑤：土曜日の外来は交代制となります。スケジュールはホームページまたは予約電話へお問い合わせ下さい。